

平成30年 5月30日現在

機関番号：12613

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26245034

研究課題名(和文) ロシアにおける人口動態の研究：ミクロ計量分析による総合的把握

研究課題名(英文) Research on Population Dynamics in Russia: Comprehensive Approaches by Micro-Econometric Analysis

研究代表者

雲 和広 (KUMO, KAZUHIRO)

一橋大学・経済研究所・教授

研究者番号：70314896

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 32,950,000円

研究成果の概要(和文)：ロシアにおける各種人口動態決定要因の抽出を完了させた。他の諸国と同様に、ロシアにおいても所得水準は出生の意思決定に有意な影響を与えないことが示された。死亡率の決定については、生活習慣とりわけ飲酒習慣の強い影響が示された。地域間人口再配置に対して社会経済要因の決定的な影響も抽出された。

成果は既に多くの刊行物の形をとっているが、更に可能な限り国際学術誌への投稿を実施している。著書は第7回地域研究コンソーシアム「研究作品賞」を受賞するに至った。また比較経済体制学会、ロシア・東欧学会、英国スラブ東欧研究学会、世界比較経済学会等での成果の公表を行った。多数の招待講演においても成果報告を実現した。

研究成果の概要(英文)：We finalized comprehensive analysis on the determinants of population dynamics in Russia. Income level does not have significant effect on decision of giving birth in Russia, as in other countries. The pattern of alcohol consumption critically affects mortality rates/life expectancy at birth. As for interregional migration, economic and social factors showed significant effects on their patterns.

Many of the fruits of this project were already published either as an article in academic journals or as a chapter in books. One of the books was awarded The 7th "Japan Consortium of Area Studies" award (prominent scholar category). Oral reports were presented at the annual conferences of the Japanese association for comparative economic studies, the British association for Slavonic and East European studies and the Japanese association for Russian and East European studies.

研究分野：ロシア経済論・人口論・地域経済論

キーワード：ロシア 人口動態 ミクロ計量分析 ジェンダー 死亡率 出生率 地域間人口移動

1. 研究開始当初の背景

経済体制の移行が始まった 1990 年代初頭から今日に至るまで旧社会主義諸国において、人口の自然減少（死亡率が出生率を上回る状況）は焦眉の課題であり続けている。1980 年代末まで再生産水準を維持していた当該諸国の合計特殊出生率は、その後急速に低下し 2000 年には多くの国が 1.5 を下回る出生率を示した。また年齢別死亡率が 2 倍近くに上昇したことが出生時平均余命を劇的に引き下げ、総人口の減少が始まった。ロシア連邦もそうした国々の中の 1 つであるが、死亡率の上昇という側面では旧社会主義諸国の中でも最も深刻な状況にあった。

ロシアの家計調査データ分析は労働市場・貧困分布等に関する研究が主流であり、人口分析への適用は限定的であった。ロシア本国では多数の優れた研究があるが、記述的・歴史的検討が中心であり、ミクロ個票等による定量分析が主流である国際的状況とは環境を異にする。また 1991 年から 2001 年までの急速な自然減少に続き 2002 年以降 2012 年まで持続的に自然減少が縮小しているというロシアの特異な状況にも関わらず、その要因分析は停滞している。とりわけジェンダー状況・生活習慣等といった家計調査個票での分析が不可欠であるような要因が人口動態に及ぼす影響の検討は、極めて遅れていると言わねばならなかったのである。

2. 研究の目的

人口動態に影響を与えると想定される要因が数多い事は自明である。だがその多くはミクロデータに依拠することなく検討するのは困難なものである。日本をも凌駕する速度で人口の減少が進行したロシアの経験から学ぶべく、本研究は上述のロシアにおける人口研究の現状を踏まえ、ロシアの家計/個人レベルでのミクロデータを用い、出生・死亡・移動の三要因を総合的に検討する。既にミクロデータを基礎として行われてきている欧米諸国・日本の人口研究から得られた知見をロシアの分析に適用する。特異な状況を見せるロシアの人口動態を分析する上で、本研究はその用いるデータ・手法とも先駆的なものとなる事が確実であり、国際的に高く評価される可能性は極めて高いと考えた。

3. 研究の方法

本プロジェクトはロシアの家計調査データ RLMS・国際社会科学プログラム ISSP の個票データを利用しロシアの人口動態規定要因を抽出・特定することが課題であった。その進行は下記の段階を踏んだ。即ち、(1)機関・研究グループ単位での利用を可能とした契約による RLMS 個票その他データの獲得；(2)文献調査を中心とする人口動態規定要因の再精査；(3)データの作業用クリーニング；(4)試論的モデルの設定と分析；(5)マクロ・セミマクロデータとの整合性のチェッ

ク；(6)社会学的調査によるデータの補強；(7)分析モデルの再構築と再度の分析；(8)成果のとりまとめと公表、という 8 段階であり、結果の獲得までには(4)～(6)の段階を繰り返すが、必要に応じ(3)のデータクリーニングに立ち戻る事にもなった。

研究成果は日本語・英語・ロシア語で作成し、我が国及び海外への積極的な発信を行った。

4. 研究成果

ロシアにおける人口動態規定要因の総合的検討を完了させた。また実施した社会学的ミクロヒストリー収集の結果によって、本体としての大規模ミクロ計量分析の論点を補完し、主たる分析結果の説得力を強調出来た。成果は可能な限りの論文化を行うと共に国際学術誌への投稿を継続的に行った。また国内外での学会報告も実現した。加えて、外部に対して開かれたシンポジウムを開催することも行った。そこにはロシア現地の人口学者やドイツの社会学者等有力研究者を招聘し、客観的評価を受ける機会を設けた。それらを通じて得られたコメントや改善への示唆等を参照し、一連の成果を再検討の上でプロジェクト集約物としての単行本出版を企画した。邦文・英文の専門図書、並びに啓蒙書の出版を行った。

中でもその集大成の一つと言える *Demography of Russia: From the Past to the Present*, Palgrave Macmillan, London, UK (authored by T. Karabchuk, K. Kumo and E. Selezneva) は、第 7 回地域研究コンソーシアム「研究作品賞」を受賞し、かつ雲がロシア科学アカデミー極東支部経済研究所名誉教授 Honorary Professor の称号を付与される等高い評価を得ることが出来た。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 60 件)

1. 上垣彰, 雲和広, 「コメコン体制の崩壊と移行国の貿易」, 『比較経済研究』 55 巻 1 号, 2018, pp.45-60. 査読有 10.5760/jjce.55.1_45
2. 雲和広, 「ロシアの社会政策課題—プーチン政権第 3 期の取組と現状—」, 『ロシアNIS 調査月報』 4 月号 2018 pp.20-30. 査読無
3. 堀江典生, 「壁の向こう側: 中央アジアから来た建築労働者たちの労働と暮らし」, 『ユーラシア研究』, 57 巻, 2018, pp.27-31. 査読無
4. Horie, Norio, The Positionality of Russia's Far East Border Regions, *Problems of Economic Transition*, 59(10), 2018, pp.753-767. 査読有 doi.org/10.1080/10611991.2017.1416835
5. 岩崎一郎, 溝端佐登史, 「移行諸国企業の所有集中と経営成果」, 『比較経済研

- 究』, 55 卷 1 号, 2018, pp.1-22. 査読有 10.5760/jjce.55.1_1
6. Igarashi, Noriko, Elderly Care in Post-Soviet Russia, *Slavic Eurasia Papers*, Vol.11, 2018, pp. 45-57. 査読無
 7. Igarashi Noriko, Elderly care in Russia and sidelka from Central Asia, "*Gendering Postsocialism*", Edited by Yulia Gradszkova, Ildikó Asztalos Morell, Routledge", 書籍所収論文, 2018, pp. 37-53. 査読有
 8. 道上真有, 「ロシアの住宅事情はどこまで変わったか」, 『ロシア・ユーラシアの経済と社会』, No.1024, 2018, pp.23-41. 査読有
 9. Litvinenko, Tamara, Kumo, Kazuhiro, Post-Soviet Period Changes in Resource Utilization and Their Impact on Population Dynamics in Chukotka Autonomous Okrug, *Geography, Environment, Sustainability*, Vol.10, No.3, 2017, pp. 542-565. 査読有 10.24057/2071-9388-2017-10-3- 66-86
 10. Kumo, Kazuhiro, Population Statistics of Russia: The Russian Empire, the Soviet Union and the Russian Federation, *Demography of Russia: From the Past to the Present*, Palgrave Macmillan, London, UK (authored by T. Karabchuk, K. Kumo and E. Selezneva), 書籍所収論文, 2017, pp.11-62. 査読有 10.1057/978-1-137-51850-7
 11. Kumo, Kazuhiro, Changes in Mortality: Meta-Analysis, *Demography of Russia: From the Past to the Present*, Palgrave Macmillan, London, UK (authored by T. Karabchuk, K. Kumo and E. Selezneva), 書籍所収論文, 2017, pp.219-259. 査読有 10.1057/978-1-137-51850-7
 12. Kumo, Kazuhiro, Interregional Migration: Analysis of Origin-to-Destination Matrix, *Demography of Russia: From the Past to the Present*, Palgrave Macmillan, London, UK (authored by T. Karabchuk, K. Kumo and E. Selezneva), 書籍所収論文, 2017, pp.261-314. 査読有 10.1057/978-1-137-51850-7
 13. Iwasaki, Ichiro; Maurel, Mathilde, The Impact of Crisis on Firm Creation and Regeneration in Russia: Regional Panel Data Analysis, Havlik, P. and Iwasaki, I., eds., *Economics of European Crises and Emerging Markets*, Palgrave Macmillan, Basingstoke, 2017, pp.263-295. 査読有 10.1007/978-981-10-5233-0_12
 14. T.リトビネンコ, 雲和広, 「ポスト・ソビエト期における資源利用の変化と人口動態への影響」, 『ロシア・ユーラシアの経済と社会』, 1012 号, 2017, pp.23-46. 査読有
 15. 雲和広, T.リトビネンコ, 「ロシア極東の人口動態とその展望」, 『ロシア・ユーラシアの経済と社会』, 1012, 2017, pp.2-22. 査読有
 16. Kumo, Kazuhiro, Research on Poverty in Transition Economies: A Meta-analysis on Changes in the Determinants of Poverty, *Transition Studies Review*, 23, 2016, pp.37-60. 査読有 10.14665/1614-4007-23-1-004
 17. Iwasaki, Ichiro, The Evolution of Corporate Governance in the Global Financial Crisis: The Case of Russian Industrial Firms, *Journal of Governance & Regulation*, 5, 2016, pp. 16-39. 査読有 10.22495/jgr_v5_i4_p2
 18. 岩崎一郎, 雲和広, 「危機と復興の移行経済: マクロ経済成長決定要因のメタ分析」, 『経済研究』, 67, 2016, pp. 326-338. 査読有
 19. 五十嵐徳子, 「ロシアにおける高齢者ケアの現状」, 『ロシア・ユーラシアの経済と社会』. №1007, 2016, pp.16-28. 査読有
 20. 五十嵐徳子, 「ロシアと中央アジアにおける労働力移動とジェンダーの変容」, 『ドイツ統一から探るヨーロッパのゆくえ』, 書籍所収論文, 2016, pp.158-173. 査読無
 21. 道上真有, 「ロシアの居住問題の今」, 日本住宅会議編, 『深化する居住の危機・住宅白書 2014 - 2016』ドメス出版, 2016, pp.348-352. 査読無
 22. 道上真有, 「冷戦後ロシアにおける社会経済の変容」, 藤田憲・松下冽編著, 『グローバル・サウスとは何か』, ミネルヴァ書房, 書籍所収論文, 2016, pp.132-144. 査読無
 23. 道上真有, 「経済危機下ロシアの外貨建住宅ローン問題」, 『ロシア・ユーラシアの経済と社会』, 1007, 2016, pp.29-43. 査読有
 24. 堀江典生, 「労働市場にみるロシアの経済危機対応力とその限界」, 『ロシア・ユーラシアの経済と社会』, 1007, 2016, pp.2-15. 査読有
 25. Igarashi, Noriko and Kumo, Kazuhiro, Women's Voices: Gender Survey in Tajikistan, *Hitotsubashi Journal of Social Studies*, 47, 2016, pp.11-30. info:doi/10.15057/27661 査読無
 26. Iwasaki, Ichiro and Suzuki, Taku, Radicalism versus Gradualism, *Journal of Economic Surveys*, 30, 2016, pp.807-834. 査読有 10.1111/joes.12110
 27. 岩崎一郎, 「世界金融危機下ロシアの企業所有構造と経営監督体制」, 『比較経済研究』, 53, 2016, pp.19-44. 査読有
 28. Kumo, Kazuhiro and Korgun, Irina, Economic Development, Geography, and Trade: Evidence from Russian Regions, 2000-2012, *Global Policy and Governance*,

- 4, 2015, pp.71-88. 査読有 10.14666/2194-7759-4-2-004
29. 雲和広, 「ロシアの社会保障をめぐる社会経済環境の変化」, 『海外社会保障研究』, 191, 2015, pp.6-15. 査読無
 30. 雲和広, 「ロシアの人口動態」, 『ロシアNIS 調査月報』, 第 60 巻第 8 号, 2015, pp.1-12. 査読無
 31. 雲和広, 「ロシアの経済発展とシベリア極東開発」, 『ロシア・ユーラシアの経済と社会』, 第 1000 号記念号, 2015, pp.52-64. 査読有
 32. 堀江典生, 「ロシアの出稼ぎ労働の規制とその背景」, 『ユーラシア研究』, 第 53 号, 2015, pp.72-74. 査読無
 33. 堀江典生, 「ロシアの企業と文化的制度的環境」, 『ロシアNIS 調査月報』, 第 60 巻第 8 号, 2015, pp.13-25. 査読無
 34. Iwasaki, Ichiro and Suganuma, Keiko, Foreign Direct Investment and Regional Economic Development in Russia: An Econometric Assessment, *Economic Change and Restructuring*, 48, 2015, pp.209-255. 査読有 10.1007/s10644-015-9161-y
 35. Iwasaki, Ichiro and Suganuma, Keiko, The Impact of FDI and Socio-Cultural Similarity on International Trade: Poisson Pseudo-Maximum Likelihood Estimation of a Russian Trade Model, *Economics Bulletin*, 35, 2015, pp.1020-1033. 査読有
 36. 雲和広, 「移行経済諸国における所得貧困研究」, 『経済研究』, 66 巻 1 号, 2015, pp.72-93. 査読有
 37. 五十嵐徳子, 「ロシアの高齢者ケア事情をジェンダーからみる」, 『現代社会と会計』, 9, 2015, pp.19-34. 査読無
 38. 武田友加, 「ロシアの生活保護政策：貧困の現状と対策」, 『海外社会保障研究』, 第 191 号, 2015. 査読無
 39. Kumo, Kazuhiro, “Neil Robinson eds, The Political Economy of Russia”, *Journal of Siberian and Far Eastern Studies*, No.11, 2014, pp.92-96. 査読有
 40. 五十嵐徳子, 「ロシア・東欧における人と生活, 境界線」, 『ロシア・東欧研究』, 42 巻, 2014, pp.45-49. 査読有
 41. Mayu Michigami, Intergenerational Differences in Russian Housing Conditions in the 2000s: Based on the RLMS (2008), *The Northeast Asian Economic Review*, Vol.2, No.2, 2014, pp.15-38. 査読有
- 〔学会発表〕(計 65 件)
1. Kumo, Kazuhiro, Demography of Japan, Novosibirsk State University Department of Asian Studies Special Invited Lecture, 2018.
 2. 岩崎一郎, コーポレートガバナンスからみたロシア極東地域企業, 富山大学極東地域研究センターワークショップ「ビジネスパートナーとしてのロシア極東地域企業」, 富山大学, 2018.
 3. 岩崎一郎, ロシア企業への制裁効果, 一橋大学政策フォーラム, 八重洲コンファレンスセンター, 2018.
 4. Kumo, Kazuhiro, Inter-regional Population Migration in Russia Revisited, British Association for Slavonic and East European Studies, Cambridge, 2017.
 5. Kumo, Kazuhiro, Trade after the Collapse of Socialism, Eurasian Business and Economics Society Conference, Rome Tre University, 2017.
 6. Kumo, Kazuhiro, Trade after the Collapse of Socialism, World Congress of Comparative Economics, Higher school of Economics, Petersburg, 2017.
 7. Mizobata, Satoshi; Iwasaki, Ichiro, Ownership Concentration and Firm Performance in Transition Economies, The 2nd World Congress of Comparative Economics, Higher school of Economics, Petersburg, 2017.
 8. Iwasaki, Ichiro, The Determinants of Economic Crisis and Recovery in Transition Economies, The 2nd World Congress of Comparative Economics, Higher school of Economics, Petersburg, 2017.
 9. Michigami, Mayu, Fringe Benefit in the Eastern Russia in Comparison with the Northwestern Region, 2nd World Congress of Comparative Economics, Higher school of Economics, Petersburg, 2017.
 10. Iwasaki, Ichiro, The Determinants of Economic Crisis and Recovery in Transition Economies, International Conference “Comparing Policy Agendas in Emerging Economies: Growth Strategy, Re-distribution and Social Security System in East Asia, Latin America and East Europe-Russia”, Kyoto University, 2017.
 11. Iwasaki, Ichiro, Corporate Governance System in Russia, Russian-Japanese Seminar “Market Quality in the Russian Far East from the Viewpoint of Company Management”, Far Eastern Federal University, 2017.
 12. Yuka Takeda, Is Russia’s social policy effectively targeting poverty?, Western Economic Association International (WEAI), 2017.
 13. 武田友加, ロシアの生活保護政策, 比較経済体制学会, 大阪経済法科大学, 2017.
 14. Kumo, Kazuhiro, Inter-regional Population Migration in Russia Revisited, 比較経済体制学会, 大阪経済法科大学, 2016.
 15. 雲和広, ロシアにおける主観的厚生と政治的姿勢: 社会調査による観察, ロシア東欧学会全国大会共通論題報告, 京都女

- 子大学, 2016.
16. Kumo, Kazuhiro, Demographic Situation and its Perspectives in the Russian Far East, Conference on "Russia's Pivot to Asia", Hankuk University of Foreign Studies, 2016.
 17. Kumo, Kazuhiro, Demography of Russia: From the Past to the Present, 7th East Asian Conference on Slavic-Eurasian Studies, Shanghai Normal University, 2016.
 18. Kumo, Kazuhiro, Inter-regional Population Migration Revisited, Bi-annual Conference of the European Association for Comparative Economic Studies, University of Regensburg, 2016.
 19. Kumo, Kazuhiro, Poverty Studies in Transitional Economies, Conference of the British Association for Slavonic and East European Studies, University of Cambridge, 2016.
 20. Iwasaki, Ichiro, The Impact of Crisis on Firm Creation and Destruction in Russia, IER-wiiw Joint Workshop on Economics of European Crises and Emerging Markets, Vienna Institute for International Economic Studies, 2016.
 21. Iwasaki, Ichiro, Decline and Growth in Transition Economies, MAER-NET 2016 Colloquium, Hendrix College, 2016.
 22. 岩崎一郎, 危機と復興の移行経済, 比較経済体制研究会 2016 年夏季研究大会, 京都大学, 2016.
 23. 岩崎一郎, 世界金融危機と企業統治システムの進化, 日本比較経営学会第 41 回全国大会, 尚絅学院大学, 2016.
 24. Iwasaki, Ichiro, Firm Entry and Exit during a Crisis Period, XVII April International Academic Conference on Economic and Social Development, Higher School of Economics, 2016.
 25. Iwasaki, Ichiro, What We Learnt from the Russian Experience during the Global Financial Crisis, XVII April International Academic Conference on Economic and Social Development, Higher School of Economics, 2016.
 26. Iwasaki, Ichiro, Post-Privatization Ownership and Firm Performance, International Conference on Diversity of Institutional Settings and Path-dependency in Transition Economies, Kyoto University, 2016.
 27. 五十嵐徳子, "ロシアにおける高齢者ケアの現状", ロシア・東欧学会, 京都女子大学, 2016.
 28. Igarashi, Noriko, Elderly Care in post-Soviet Russia, 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター2016 年度冬期国際シンポジウム, 北海道大学スラブ研究センター, 2016.
 29. 道上真有, ロシアの外貨建住宅ローン問題: 家計の住宅ローン利用を中心に, 比較経済体制学会, 大阪経済法科大学, 2016.
 30. Norio Horie, Foreign Investment, Land Grabbing and Migration Labor Force, サンクトペテルブルク国立大学"Evolution of International Trading System: Prospects and Challenges", 2016.
 31. Kumo, Kazuhiro, Poverty Studies in Transitional Economies, World Congress of Comparative Economics, Roma Tre University, 2015.
 32. Kumo, Kazuhiro, Mortality Trends in Russia Revisited, IX World Congress of the International Council for Central and East European Studies, Kanda University of Foreign Studies, 2015.
 33. Kumo, Kazuhiro, Poverty Studies in Transitional Economies, The 31st Russo-Japanese Academic Symposium, Institute of Economic Research, RAS Far East, 2015.
 34. Kumo, Kazuhiro, Poverty Studies in Transitional Economies, Annual Conference, Laboratory for Comparative Sociological Research, Higher School of Economics, 2015.
 35. Horie, Norio, Chinese Market Evolution in iberia: Reshaping Chineseness from Below International Scientific-Practical Conference "Migration processes in the Asia-Pacific region: history, modernity, practices of interaction and regulation", Far Eastern Federal University, 2015.
 36. 堀江典生, 低下するロシアの労働組合組織率, 第 55 回比較経済体制学会全国大会, 日本大学経済学部, 2015.
 37. Iwasaki, Ichiro, Central Bank Independence and Inflation in Transition Economies, MAER-NET 2015 Colloquium, Charles University in Prague, 2015.
 38. Uegaki, Akira and Iwasaki, Ichiro, Central Bank Independence and Inflation in Transition Economies, World Congress of Comparative Economics, Roma Tre University, 2015.
 39. Mizobata, Satoshi, and Iwasaki, Ichiro, Privatization, Ownership Structure, and Firm Performance, World Congress of Comparative Economics, Roma Tre University, 2015.
 40. Iwasaki, Ichiro, 25 Years of the Transition Strategy Debate, World Congress of Comparative Economics, Roma Tre University, 2015.
 41. 道上真有, 「ロシア企業福利厚生の実態」と地方都市におけるその実態, 北東アジア学会第 2 回新潟サテライト研究会, 新潟大学, 2015.

42. 武田友加, Garden plots as informal safety nets in rural Russia, 第27回西日本ロシア東欧研究者集会, 京都女子大学, 2015.
43. 雲和広, 移行経済諸国における所得貧困研究, 比較経済体制学会, 西武文理大学, 2014.
44. Kumo, Kazuhiro, Geography and Trade for Russian Regional Growth, Hallym Symposium for Russian Studies, Hallym University, 2014.
45. Kumo, Kazuhiro, Mortality Trends in Russia Revisited, Bi-annual Conference of the European Association for Comparative Economic Studies, Corvinus University of Economics, 2014.
46. Kumo, Kazuhiro, Geography and Trade for Russian Regional Growth, Evidence from Russia, 2000-2011, Third Pacific Rim Conference on Comparative Economic Studies, Waikoloa Marriott Resort and Spa, 2014.
47. Kumo, Kazuhiro, Geography and Trade in Russian Regional Growth, 2000-2011, Annual Conference of the British Association for Slavonic and East European Studies, University of Cambridge, 2014.
48. 堀江 典生, Central Asian Migrant Workers and Their Vulnerability in Russia, 北カフカス連邦大学主催国際コンファレンス「移民プロセス：移民の適応・統合の諸問題」, 北カフカス連邦大学, 2014.
49. 堀江 典生, ロシア極東国境地帯における中国人移民労働者とその規制, 国際シンポジウム「包摂・排除の歴史と現在—東アジア移民、政策、国境」名古屋大学国際開発研究科, 2014.
50. Horie, Norio, Immigrant workers in Russian Far East Agriculture, VI международная научно- практическая конференция по теме "Роль миграции в социально-экономическом и демографическом развитии посылающих и принимающих стран Евразии", 2014.
51. 堀江 典生, 移行経済における人的資源管理, 比較経済体制学会秋季大会, 西武文理大学, 2014.
52. Mizobata, Satoshi, Horie, Norio, Market Transition and Path-Dependency, European Association of Comparative Economic Studies, 13th conference, 2014.
53. Horie, Norio, Russian HRM with the Soviet Job Design Intact, The 13th Northeast Asian Academic Network, 富山大学, 2014.
54. Horie, Norio, Changing Russian HRM with the Soviet Job Design Intact, 京都大学経済研究所国際コンファレンス Comparative Analysis of Business and Management, 京都大学, 2014.
55. Mayu Michigami, Intergenerational gap of Russian housing in the 2000's, ロシア・ユダヤ自治州政府, ロシア科学アカデミー極東支部地域問題複合分析研究所ほか主催「第5回国際コンファレンス「地域発展の現在問題」」, 2014.

〔図書〕(計5件)

1. 岩崎一郎, 日本評論社, 『比較経済論講義』, 2018, 近刊.
2. Havlik, Peter, Iwasaki, Ichiro (eds), Palgrave Macmillan, *Economics of European Crises and Emerging Markets*, 2017, xxiv+308 pp. 10.1007/978-981-10-5233-0_12
3. Karabchuk, Tatiyana, Kumo, Kazuhiro, and Selezneva, Ekaterina, Palgrave Macmillan, *Demography of Russia: From the Past to the Present*, 2017, xvii + 334pp. 10.1057/978-1-137-51850-7
4. 岩崎一郎, 岩波書店, 『法と企業統治の経済分析：ロシア株式会社制度のミクロ実証研究』, 2016, xxii+340pp.
5. 五十嵐徳子, 東洋書店, 『ロシアで生きる ソ連解体と女性たち』, 2014, 64pp.

6. 研究組織

(1)研究代表者

雲 和広 (KUMO KAZUHIRO)
一橋大学・経済研究所・教授
研究者番号：70314896

(2)研究分担者

岩崎 一郎 (IWASAKI ICHIRO)
一橋大学・経済研究所・教授
研究者番号：70323904

五十嵐 徳子 (IGARASHI NORIKO)
天理大学・国際学部・教授
研究者番号：80294156

堀江 典生 (HORIE NORIO)
富山大学・研究推進機構 極東地域研究センター・教授
研究者番号：50302245

道上 真有 (MICHIGAMI MAYU)
新潟大学・人文社会・教育科学系・准教授
研究者番号：30527693

武田 友加 (TAKEDA YUKA)
九州大学・基幹教育院・准教授
研究者番号：70376573